



MAC NEWS

2026年 3月号

男子って・・・こんなうちの子だけ・・・？

～ 男の子を持つ保護者さんへエールを！！ ～



男の子は「宇宙人」

「忘れ物がありません・・・」
 「何度言っても聞きません・・・」
 「ゲームを始めたら、終わりがありません・・・」
 「注意した直後から、注意したことをしています・・・」

・・・これら全て、男の子を持つお母さんの心の叫びです（笑）

男の子は「宇宙人」とよく言われますが、そんな我が子と日々の壮絶なバトル・・・保護者の皆様、毎日本当にお疲れ様です。

今回のMAC NEWSはそんな「男の子の特性」についてまとめてみようと思います。

男の子を育てるのは、女の子の100倍大変！？

こう語るのには日本親勉アカデミー代表理事を務める小室尚子氏です。

この方は今まで1万2000人を超えるお子さんを指導された先生で、その保護者とも多くの面談をされてきました。そんな中で圧倒的に多いのが男の子に関する悩みです。

悩みの内容はまさに先述のような内容です・・・。

個人的な感覚では、同級生でも男の子は女の子のマイナス2歳くらいかな？と感じていたのですが、小室氏も著書で全く同じ事を書かれていました。

中学3年生と進路相談をしているも女子は、

「将来の夢は〇〇で、その勉強するには△△高校に行かないといけないし、そのためにはこのくらいの成績を取らないとダメだから、もう少し頑張らって勉強する！」

というような建設的な会話になるのですが、男子は

「将来の夢ですか？ん～・・・サラリーマン。志望校は〇〇高校です。なぜって？先輩がここに通っていて、むっちゃいいよ！って言ってたから～」

・・・毎年、男子との進路相談はため息が止まりません(-_-;)

男子と女子の特性の違い

左下の図をご覧ください。ざっと比べるだけで、これほどの大きな差があります。

ではその男子の特性をうまく生かし、どのように接していけば良いのでしょうか？

好きなことに、好きなだけ没頭させる

男の子は興味のあることになると、ご飯を食べるのも忘れ没頭します。このパワーをいかに「学び」に繋げられるかが大事です。例えばカブトムシが好きなお子さんなら、親も一緒に図鑑を開いて、日本のカブトムシと世界のカブトムシの体のつくりの違いを調べたり、生息するエリアの気候の共通点を考えてみたり、国旗も一緒に見てみたり・・・。

大切なのは、お母さんも一緒になって調べてあげることです。お母さんが子どもの好きなことに興味を持って、一緒に調べることで、子どもの学びはどんどん広がっていくのです。

お気づきだとは思いますが、この例で言えば、カブトムシにつ

て詳しくなることが勉強なのではありません。知らないことを自ら調べ知識をインプットするという行為自体が、勉強の仕方に繋がっているのです。成績を上げることに直接関係の無いように感じますが、実はこの習慣作りが一番の近道なのです。

教科の勉強にも同じ事が言えますが、男の子は「まんべんなく平均的にできるように」よりも、少し苦手な分野があっても「誰よりもこれは得意！」と言えるものを一つ持たせてあげる方が後で大きく伸びます。

子どもが没頭することがあれば、それにとことん没頭させてあげてください。（でも、ゲームに没頭はダメですよ）

ゲーム好きには「朝ゲーム」がオススメ

ゲームが好きで好きで、時間があったらゲームばかり・・・というお子さんも多いかと思います。そんな時にオススメなのは朝ゲームのルールを作ることです。「朝、いつもより早起きできたらその時間だけゲームが出来る」

としてしまうとガラガラ際限なくゲームをすることもなくなりますし、朝も早起きになるので一石二鳥ですよ！

子どもは親の覚悟を見ている

親にとっては少々耳の痛い見出しですが、今回のNEWSで一番大切な核心の部分です。

子どもは親の「言葉」と「行動」をよく見えています。親は子どもの

言っていることとやっていることが違えば叱ります。それは子どもも同じです。親の言動が違っていたら、親を信用しなくなり、言うことを聞かなくなります。

例えばゲームに関してのルールを決めたのに、子どもがそれを守らず「次ルールを破ったらゲーム捨てるからね！」と言っていたにも関わらず、結局またルールを破ってしまった。しかし「高価なものだし・・・」「おじいちゃんに買ってもらったものだし・・・」などの理由で捨てられない、なんてことはないでしょうか？

子どもが見ているのは全てにおいて「親の覚悟」なのです。上記のようなことがあると、子どもは

「お母さんは口ではああ言っているけど、実際に行動には移さない。」

と考えるようになります。結果、言っても言っても聞かないのです。（あれこれ言っただけで粘ったら、結局は自分の思い通りになる・・・と本能的に考えるのです）

ルールを決めたからには実行する。極端な話、約束を破ったら前から楽しみにしていた家族旅行でもキャンセルする！くらいの覚悟がなければ、子供は変わろうとしません。

目指すはスポーツの審判。審判はルールを破った選手を怒ったりせず、淡々とペナルティを与えますよね？ご家庭でもこれが理想的です。

我が子を変えたい方は、まず「親の覚悟」を決めることから始めて下さい。親が変われば子も変わる。これは確かなことです。

男子



・「楽しさ」を優先する。(行動基準は自分が楽しいかどうか)

→興味が無いことは覚えなし、もし覚えたとしてもすぐに忘れてしまう。先生に叱られたり、友だちに笑われたりしてもお構いなし。そこに悪気は無い。

・一つのことに熱中しやすい

→夢中になると、他のことを忘れのめり込む。動物に例えれば「犬」

・小学生の間は幼く、中学に入ると反抗期に

→中学で親を邪険に扱うようになれば、やっと自立のサイン。

女子



・「人の目」を優先する。(行動基準は他人からどう見られるか)

→周りの目を気にするので、興味が無かったり、したくないことでも「やらない」「忘れる」という行動に繋がりにくい。

・親に意見をされればすんなりと、比較的バランス良く動く

→あまり自主性はないものの、ある程度親の言う通りに動く。動物に例えれば「うさぎ」

・早めから自立期に

→人目を気にするだけあって、親の思うような行動パターンを取ってくれやすい傾向がある。(当然個人差があります)